

平成24年度 青森県営浅虫水族館の管理運営状況

県所管課	観光国際戦略局 観光企画課
指定管理者	青森水族館管理株式会社 代表者 神 正人
指定期間	平成21年4月1日～平成26年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務区分	概要
展示生物の飼育・展示	特徴ある常設展示と話題性のある特別企画展示を実施した他、海獣館ではアシカ、アザラシ、ペンギン等各動物の食事風景も公開した。
イルカショーの実施	通常のショープログラムの他、季節毎の特別バージョンを交えて感動とお客様との交流を重視したショーを実施した。
企画・広報・営業活動	ほぼ毎月催事を実施できるようイベントを企画し、各マスメディアを利用しての広報や営業活動を実施した。
売店運営	利用者のニーズを把握しサービスの向上と効率的運営を図った。
施設・設備の維持管理	年次計画による計画的な維持管理と日常的な保守作業により安定的な施設運営ができるよう取り組んだ。

2 管理施設の利用状況

利用指標	年度	計画	実績	計画対比	前年度対比
施設利用者数	H20	/	303,837人	(指定前の実績)	
	H21	330,000人	311,228人	94.3%	102.4%
	H22	340,000人	283,279人	83.3%	91.0%
	H23	360,000人	315,479人	87.6%	111.4%
	H24	360,000人	297,491人	82.6%	94.3%
	H25	360,000人			
利用料金収入等	H20	/	298,945千円	(指定前の実績)	
	H21	313,000千円	323,926千円	103.5%	108.4%
	H22	328,000千円	286,467千円	87.3%	88.4%
	H23	341,000千円	321,899千円	94.4%	112.4%
	H24	341,000千円	307,081千円	90.1%	95.4%
	H25	341,000千円			

【増減理由】

平成24年度は、経済の低迷による浅虫温泉地区の業績不振や震災の影響で、一時的に増えた東北地区の修学旅行客の減少等により、前年度と比較すると約5%の減少となり、新幹線開業による利用者増を見込んで高く設定した計画値にも及ばなかった。今後は、マスメディアを利用した話題提供等を更に積極的に行い、浅虫水族館の存在感を高め、利用者数の増加を図りたい。

3 評価結果

評価項目	指定管理者自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	4	4	従前より行っているアンケートを参考にし、館内表示、休憩所、売店等館内の環境整備を図り利用者の利便性の向上に取り組んでいる。また、利用者満足度調査においても、高い評価を得ている。
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	4	4	季節毎にイベントを開催し、県内をはじめ東北各県、北海道まで広くPRを実施しており、リピーターの確保に取り組んでいる。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	4	4	施設、設備の維持管理及び修繕を適切に行いつつ、経費の削減に努めている。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	4	4	事故発生時の連絡系統、通報・避難・消火を基本とした消防訓練の実施及び医療休憩室の整備が行われている。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	4	4	毎月の定期報告書、四半期毎の経理状況報告、収支決算により執行を確認している。 経費の節減等により単年度黒字となっている。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか	4	3	施設利用者数については、前年実績を下回り、新幹線効果を見込んで高く設定した目標にも達しなかった。よりきめ細やかなサービスと広報の適切な実施を促したい。
⑦個人情報の保護に対する体制の構築・取組みを行っているか	4	4	管理運営に伴い取得した個人情報等については、青森県個人情報保護条例等により適正に運営できるよう情報管理者を定め、情報保護教育を行っている。
総合評価	4	4	利用者満足度調査において高い評価を得ており、施設利用者数、収入ともに前年実績を下回ったものの、経費削減を図り、県の委託料を縮減するなど、多くの項目において評価できる。

○評価基準

- 5 (秀) : 業務水準書等の内容を上回り、特筆すべき実績をあげている
- 4 (優) : 業務水準書等の内容を上回り、優れた実績をあげている
- 3 (良) : 業務水準書等の内容が満たされている
- 2 (可) : 業務水準書等の内容が満たされず、一部改善を要する
- 1 (不可) : 業務水準書等の内容が満たされず、重大な改善を要する